

Brown Bag Seminar



ブラウンバッグセミナー

録画期間限定公開
オンライン (Zoom)

2022.3.23 (水)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

登録はこちら

日 ← 同時通訳 → 英

12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_9r0N7TakQ8mxft_InTzowg

アートと共生社会 - 心のいのちを養い、分断をつなぐ -

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

自然災害、疫病蔓延による社会的分断など、「昨日とつながらない今日」を生きる人々を前に、アートは何ができるのでしょうか。発表者は、アートプロジェクトや彫刻作品制作を通して復興支援を行なってきました。その中で、アートの創造性が人間の心を養い、共生社会をつむぐ風を生み出すことを実感しました。心のいのちを養うためには、創造する主人公であるという自信、自分や他人の中にある「創造する主体」を、感性を通して理解すること、そして複数の想像力を重ね合わせるための「共創」が必要なのです。本発表では、心のレジリエンスを回復するためのアートの実践と知見を紹介します。



知足 美加子 教授

九州大学 芸術工学研究院

青年海外協力隊、美術隊員としてコスタリカ共和国に派遣された後、筑波大学大学院芸術研究科彫塑コースを修了し、博士(芸術学)を取得しました。九州芸術工科大学勤務から、2003年の大学統合にともない九州大学の教員となりました。美術アカデミーでは国画会彫刻部の会員です。また、英彦山(ひこさん)山伏の子孫であり、現在、日本山岳修験学会の評議員を務めています。芸術工学部の知足研究室の学生たちは、ARやVR等の最新デジタル技術と、アートや伝統文化を組み合わせた制作や研究をおこなっています。アートによる社会貢献として、1999年アイヌ民族に関わる二風谷(にぶたに)プロジェクト、2004年中越地震、2011年東日本大震災、そして2017年九州北部豪雨災害の復興支援を行っています。

